

2022 年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
博士前期課程 学生募集要項
[第 2 期試験]

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士前期課程に 2022 年度に入学する学生を次により募集する。

1. 本研究科の概要

本研究科は、以下の専攻、講座、研究領域からなる。

専攻	講座	研究領域
教育科学専攻	生涯発達教育学講座	教育史，教育行政学，社会・生涯教育学， 技術・職業教育学※1※2
	学校情報環境学講座	学校情報学※2，カリキュラム学，教育方法学， 教育経営学，教師教育学
	相関教育科学講座	人間形成学，教育人類学，教育社会学，比較教育学， 大学論※2
	高等教育学講座	高等教育学
	生涯スポーツ科学講座	生涯体力科学，健康運動科学，スポーツ教育学※2， スポーツマネジメント，スポーツバイオメカニクス， スポーツ生理学
心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座 (心理行動科学領域)	計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学， パーソナリティ心理学，社会心理学
	精神発達臨床科学講座 (心理臨床科学領域)	生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学， 学校心理学，発達精神科学
	スポーツ行動科学講座 (スポーツ行動科学領域)	スポーツ心理学，運動学習科学

修了者には、修士（教育学）、修士（心理学）又は修士（臨床心理学）の学位（Master of Arts）を授与する。

心理臨床科学領域は、公認心理師法施行規則が定める大学院の指定科目を開講している。また、心理臨床科学領域は、日本臨床心理士資格認定協会の大学院指定制度 1 種に指定された領域である。

上記の表のうちから教育科学専攻を志望する者は志望する研究領域を、心理発達科学専攻を志望する者は志望する講座をひとつだけ選択し、様式 1 の志願票・受験票・写真票の志望講座・研究領域欄に記入すること。

※1 「技術教育学」と「職業・キャリア教育学」を 2022 年度より統合し、新領域「技術・職業教育学」として発足する予定である。

※2 2022 年度における教員の欠員補充が未定であるため、当該研究領域は学生を募集しない。

2. 出願資格

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2022 年 3 月末日までに卒業見込みの者（大学とは、我が国の学校教育法第 83 条に定める大学（修業年限が 4 年以上の大学）をいう。）
- (2) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月末日までに修了見込みの者

- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2022年3月末日までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月末日までに修了見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年3月末日までに修了見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月末日までに22歳に達する者

注) 出願資格(9)により出願する者は、8頁を参照し、名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当あてに **2021年11月2日(火)【必着】** で必要書類を提出すること。

3. 入学定員及び募集人員

本研究科の入学定員は、別に募集する高度専門職業人養成コースと合わせて、次のとおりである。

なお、第1期試験における募集人員は、以下のとおりである。

専攻	入学定員	備考
教育科学専攻	32名	第2期においては15名程度とする。
心理発達科学専攻	22名	第1期、第2期を合算して入学定員とする。 可否判定は、講座ごとに行われる。

4. 出願書類および入学検定料

様式は、本研究科のウェブサイトよりダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入すること。印刷できない場合は、大学院教育発達科学研究科入試担当まで相談すること。

(1) 入学志願票・写真票・受験票 【様式1】

所定の様式をA4判用紙に片面印刷し、提出すること。写真票、受験票は、点線で切り取ること。

(2) 卒業(見込)証明書

卒業(見込)大学等発行の証明書(原本)を提出すること。コピーは受け付けない。ただし、名古屋大学教育学部既卒者または卒業見込者は提出を要しない。

氏名変更等により、証明書に記載の氏名と現在の氏名とが異なる場合、それを証明できる書類(戸籍抄本等)を併せて提出すること。

出願資格(6)により出願する者は、学位取得(見込)証明書を提出すること。

なお、海外の大学等を卒業した者は、日本の学士に相当する学位を取得したことを証明するものを提出すること。また、中国の大学卒業者は、卒業(見込)大学等発行の証明書を提出するとともに、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心(CDGDGDC)』のウェブサイトにて「学

位証書」の認証報告（PDF）を取得し、それを A4 判用紙に印刷したものを提出すること。発行に時間がかかる場合もあるため、手続きは早めに行うこと。手続きの詳細については、CDGDC のウェブサイトを確認すること。CDGDC の学位証書に関する取り扱いに変更が生じた場合は、提出書類を変更する可能性がある。その場合は別途指示する。

(3) 成績証明書

卒業（見込）大学等発行の証明書（原本）を提出すること。コピーは受け付けない。ただし、名古屋大学教育学部既卒者または卒業見込み者は提出を要しない。

証明書は大学学部卒業以上の全学期（大学に編入学している場合は、編入学前の大学等も含む）が記載されたものを提出すること。

(4) これまでの研究テーマまたは卒業論文の題目とその概要 【様式 2】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出すること。

(ア) 教育科学専攻

既卒者は卒業論文、既卒者で卒業論文を課されなかったものは在学中に行った卒業研究等、卒業見込の者は進行中の研究について、そのテーマまたは題目とその概要を、約 4,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。なお、大学卒業後、大学院・学部・専攻科等に学生・研究生として在籍中の者、または 1 年以上在学したことがある者は、修士論文、研究論文、研究報告等を添付することができる。各 4 部提出すること。複写可。

(イ) 心理発達科学専攻

既卒者は卒業論文、既卒者で卒業論文を課されなかったものは在学中に行った卒業研究等、卒業見込の者は進行中の研究についてそのテーマまたは題目とその概要を、約 1,000 字で記述し、6 部提出すること（英文での提出も可能。ただし、約 400 単語で記述すること）。複写可。なお、大学卒業後、大学院・学部・専攻科等に学生・研究生として在籍中の者、又は 1 年以上在学したことがある者は、上記を修士論文、研究論文、研究報告等のテーマまたは題目とその概要にかえることができる。

(5) 研究計画 【様式 3】

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、提出すること。

(ア) 教育科学専攻

約 2,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。

(イ) 心理発達科学専攻

約 2,000 字で記述し、6 部提出すること。複写可（英文での提出も可能。ただし約 800 単語で記述すること）。

(6) 受験票送付用封筒（市販の封筒を用意すること）

長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に、あて先に出願者の住所・氏名を記入し 384 円切手を貼ること。

（ただし、日本国内への送付を希望する場合に限る。日本国外への送付を希望する場合や日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 11 枚を同封すること。）

(7) 連絡用封筒 1 通

市販の長形 3 号（23.5 cm×12 cm）の封筒に、返信先住所・氏名を記入し、384 円切手を貼付すること。受験票送付後に連絡事項が発生した場合に使用する。使用しなかった場合には、合否通知送付時に返却する。

(8) 合否通知送付用封筒（市販の封筒を用意すること）

長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に、あて先に出願者の住所・氏名を記入し 384 円切手を貼ること。

（ただし、日本国内への送付を希望する場合に限る。日本国外への送付を希望する場合や日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 11 枚を同封すること。）

(9) あて名シート【様式 4】（日本国内在住者のみ）

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し、本人の住所・氏名を記入し、点線で切り取る。

(10) EMS あて先登録票 [様式5]

日本国外への送付を希望する場合は、所定の様式に必要事項を入力し、教育発達科学研究科入試担当まで、出願期間中に様式に記載されているメールアドレス宛に送信すること。また、本様式を A4 判用紙に印刷し、他の出願書類と一緒に郵送すること。

(11) 入学検定料支払いの証明

支払い方法の詳細については、別紙「2022 年度大学院教育発達科学研究科入学試験(2022 年 1 月実施) 検定料の支払い方法について」を確認すること。

* 国費留学生の場合「国費外国人留学生証明書」をもって入学検定料に代える。なお、本学で国費留学生として在籍している者は、「国費外国人留学生証明書」の提出は不要。

(12) 国籍、在留資格及び在留期間を確認できるもの ※日本国籍を有しない者のみ

・(日本国内に在住する者)

住民票の写しまたは在留カード(両面)のコピーを提出すること。住民票の写しの場合は、「在留資格」、「在留期間」、「在留期間満了日」が記載された「個人番号(マイナンバー)」の記載のない住民票の写し(発行日から3ヶ月以内のもの)を市区町村役場で取得し提出すること(発行時に申し出が必要)。

・(日本国外に在住する者)

パスポート(顔写真のある頁)のコピーを提出すること。

※出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いること。

5. 願書受付期間

2021 年 11 月 22 日(月) ~ 26 日(金) 16 時

【留意点】

- ・メールでの出願はできません。
- ・検定料の支払い方法は例年と異なります。詳細は上述の(11)をご確認ください。

郵送のみ	封筒の表に「大学院教育発達科学研究科〇〇専攻入学願書在中」と朱書し、必ず書留郵便とし、上記受付期間内に必着のこと。期間後到着分は受理しないので注意すること。 出願書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700) 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当
------	--

出願上の注意事項

- ① 本研究科が受理した出願書類を、受理後に訂正することは認めない。
- ② 理由のいかんにかかわらず、出願書類及び入学検定料は返還しない。
なお、受験票の発送は、12月10日(金)頃を予定している。
- ③ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更となる場合がある。更新内容については本研究科入試情報ウェブサイト (<https://educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>) を随時確認すること。

6. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は出願書類による出願資格等の審査及び学力試験により行う。
- (2) 学力試験は筆記及び口述により行う。とくに指示がある場合を除き、日本語により解答するものとする。
なお、心理発達科学専攻においては、筆記試験の結果に基づき、第1次の合否判定を行う。この判定で合格となった者のみ、口述試験を受験できる。この口述試験の受験者に対して、最終的な合否判定を行う。

(3) 学力試験の科目及び実施方法

1) 教育科学専攻の学力試験

(ア) 期日・時間割

期日	時間	学力試験の科目
2022年1月19日(水)	9:00～	口述試験
2022年1月20日(木)	9:30～11:00	外国語
	13:00～15:00	教育科学

口述試験の時刻表は、2021年12月17日(金)までに本研究所入試情報ページ上に掲示する。なお、口述試験の日時に関して、受験者の個別の要望には応えない。

(イ) 学力試験の科目

① 教育科学(筆記)	教育史, 教育行政学, 社会・生涯教育学, 技術・職業教育学, 学校情報学, カリキュラム学, 教育方法学, 教育経営学, 教師教育学, 人間形成学, 教育人類学, 教育社会学, 比較教育学, 大学論, 高等教育学, 生涯体力科学, 健康運動科学, スポーツマネジメント, スポーツバイオメカニクス, スポーツ生理学の計20研究領域から出題する。各自の志望研究領域を含む2研究領域を選択して筆記により解答すること。
② 外国語(筆記)	英語又は日本語のいずれか受験者が選択した自国語以外の言語について、一般教養的語学力及び教育科学に関連する語学力を筆記により試験する。
③ 口述試験	出願書類(4), (5)の記載事項を含む研究事項及び関連学力について試験する。

(ウ) 受験上の注意事項

- ① 口述試験では出願書類(4)及び(5)の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。
- ② 外国語または教育科学のいずれか一つでも受験しなかった者は、それ以降のすべての試験を受験できない。また、口述試験に15分以上遅刻した者は、口述試験を受験できない。
- ③ 試験中は辞典・参考書等を使用できない。
- ④ 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- ⑤ 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切っておくこと。
- ⑥ 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

2) 心理発達科学専攻の学力試験

(ア) 期日・時間割

期日	時間	学力試験の科目
2022年1月19日(水)	9:00～10:00	英語
	10:30～12:00	心理発達科学 スポーツ行動科学
2022年1月20日(木)	9:00(予定)～	口述試験

第1次の合否判定結果及び口述試験の時刻表は、2022年1月20日(木)8:45頃に本研究所玄関に掲示する。なお、口述試験の日時に関して、受験者の個別の要望には応えない。

(イ) 学力試験の科目

① 筆記試験（専門科目）

心理行動科学領域（心理社会行動科学講座）または心理臨床科学領域（精神発達臨床科学講座）を志望する者は心理発達科学を、スポーツ行動科学領域（スポーツ行動科学講座）を志望する者はスポーツ行動科学を選択する。

・心理発達科学：計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学，パーソナリティ心理学，社会心理学，生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学，学校心理学，発達精神科学について出題する。

心理社会行動科学講座（心理行動科学領域），および精神発達臨床科学講座（心理臨床科学領域）を志望する者は，共通問題（心理学研究法，統計を含む）1問，選択問題（心理行動科学領域および心理臨床科学領域）4問中2問，計3問に解答すること。これにより，心理社会行動科学，および精神発達臨床科学における研究に必要な能力について試験をする。

・スポーツ行動科学：スポーツ心理学，運動学習科学について出題する。これにより，スポーツ行動科学における必要な能力について試験をする。

② 筆記試験（英語）

心理行動科学領域・心理臨床科学領域・スポーツ行動科学領域の3領域にかかわる英語力について試験する。

③ 口述試験

出願書類（4），（5）の記載事項を含む研究事項及び関連学力について試験する。

(ウ) 学力試験の特例について

心理発達科学専攻を志望する受験者が，以下のいずれかに該当する場合は，筆記試験（専門科目）において冊子体の語学辞書1冊（「英和・和英」等，複数冊分の機能のあるものは認めない。）を使用することを認める。ただし，筆記試験（英語）及び口述試験での辞書の使用は認めない。

① 日本国以外の国籍を有する者であって，日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。

② 日本国の国籍を有する者であって，学歴等から日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。

この特例により受験することを希望する者は，出願の際に〔様式6〕により申請すること。特例により受験することの可否について審査し，その結果は受験票発送時に同封する。

(エ) 受験上の注意事項

① 口述試験では出願書類（4）及び（5）の内容について質問することがあるので，それらの写しを持参すること。また，口述に際して，それらを参照することができる。

② 筆記試験（専門科目）または筆記試験（英語）のいずれか一つでも受験しなかった者は，それ以降のすべての受験資格を失う。

③ 試験中は辞典・参考書等を使用できない（（ウ）による特例受験者の筆記試験＜専門科目＞を除く）。

④ 試験開始後は，各科目の終了時刻まで退室することはできない。

⑤ 携帯電話は，試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切っかばん等に入れておくこと。

⑥ 試験場には時計がないので，必要な者は時計を持ち込んでよい。ただし，時計は計時機能のものに限る。

(4) 試験実施場所

試験は名古屋大学大学院教育発達科学研究科（名古屋市千種区不老町）において実施する。詳細は，試験当日，本研究科玄関に掲示する。

7. 合格者発表

2022年1月26日(水)17:00頃、本研究科玄関に掲示するとともに、後日郵送により受験者に通知する。
なお、受験者の便宜を考慮し、玄関掲示以降、本研究科ウェブサイトにも掲載する予定であるが、あくまで、本研究科玄関の掲示と郵送による通知を正式な合格者発表とする。

<https://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

8. 入学手続

2022年3月上旬頃、郵送により合格者に通知する。

9. 学生納入金

入学金 282,000円 (予定額)

授業料(年額) 535,800円 (予定額)

〈注〉

- ① 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行なわれた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。
- ② 入学手続時に入学金(282,000円)を納入しなければならない。
- ③ 授業料の納入については、別途通知する。

10. その他

(1) (障害のある者等の出願) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、**2021年11月2日(火)【必着】**で、以下3点を文系教務課まで提出すること。

- ① 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの(様式随意、A4サイズ))
- ② 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでもよい)。
- ③ 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。

なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。また、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

(2) (個人情報の取り扱い) 出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

2021年10月発行

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)

TEL: 052-789-2606

Email: educa@adm.nagoya-u.ac.jp

出願資格（9）により出願する者の個別審査について

1. 個別審査

出願資格（9）により出願する者は、あらかじめ次の書類を 2021年11月2日（火）【必着】 で、本研究科へ提出又は郵送し（書留便で封筒の表に「個別審査願」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けること。

- ① 個別審査願 [様式7]
- ② 履歴書 [様式8]
- ③ 研究実績調書 [様式9]
- ④ 研究内容説明書 [様式10]
- ⑤ 成績証明書（高校卒業の者は、それ以降のものをすべて提出すること。）
- ⑥ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形3号（23.5cm×12cm）のもの（84円分の切手貼付））

本研究科で個別審査を実施し、その結果は2021年11月12日（金）までに本人あて発送する。

2. 個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

出願書類に審査結果（通知）の写しを添えて、受付期間内に提出すること。ただし、出願書類のうち、すでに個別審査で提出している成績証明書は、不要である。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておくこと。

大学院入学試験結果の開示について

大学院入学試験の結果を下記により受験生に開示します。

1. 開示の対象
大学院入学試験に不合格となった者
2. 開示の方法
試験の成績を各科目百分率で示す
3. 開示請求
下記の書類等を添えて、試験後の2週間～2ヶ月以内に請求してください
 - ・ 開示請求書（A4判，受験番号，氏名，志望専攻名，受験年月を明記）
 - ・ 受験票（原本に限る，コピーは不可）
 - ・ 返信用長形3号（23.5 cm×12 cm）の封筒（住所・氏名を明記し，84円分の切手を貼付したもの）

過去の入試問題の開示について

次の二方法により受験生に開示します。

1. 本研究科ウェブサイト上に掲載
既存の著作物の一部を問題に使用した部分は，ウェブサイト上での公開について著作権者の許諾を得ていないため非公開。出典文献名と使用箇所のみ公開。
2. 文系教務課（名古屋大学東山キャンパス 文系総合館1階）にて閲覧
既存の著作物の一部を問題に使用した部分も閲覧可。持出・コピー・撮影等は著作権者の許諾を得ていないため厳禁。

2021年度入学試験 志願者数・合格者数一覧

<博士前期課程>

		第1期		第2期	
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
教育科学専攻		25	14	18	9
心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	11	7	2	0
	精神発達臨床科学講座	54	10	14	4
	スポーツ行動科学講座	1	1	0	0
高度専門職業人養成コース	生涯学習研究コース	9	8	3	3
	心理開発研究コース	0	0	0	0
	心理臨床研究コース	1	0	1	0

<博士後期課程>

		志願者数	合格者数	
一般	教育科学専攻	6	5	
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	3	2
		精神発達臨床科学講座	4	4
		スポーツ行動科学講座	0	0
社会人特別選抜	教育科学専攻	4	3	
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	1	1
		精神発達臨床科学講座	0	0
		スポーツ行動科学講座	0	0
海外学位取得者特別選抜	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	0	0
		精神発達臨床科学講座	0	0
		スポーツ行動科学講座	0	0
教育マネジメントコース	生涯学習マネジメント	0	0	
	学校教育マネジメント	1	1	
	高等教育マネジメント	2	2	
心理危機マネジメントコース	心理危機マネジメント	9	4	

今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況等によっては、入試日程や入試実施方法等を変更することがあります。変更する場合は、当研究科のホームページ上でお知らせいたしますので、随時ご確認ください。また状況によっては、面接試験をオンラインで実施する可能性があります。その際には、機材（カメラ及びマイク付きのタブレット端末やノートパソコン等）とネットワーク環境をご自宅等に用意していただくことが必要となります。

○名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部（入試情報ウェブサイト）

URL <https://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のウェブサイト等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○入試情報ウェブサイト（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部）

URL <https://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

○連絡窓口

文系教務課 TEL 052-789-2606

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

自然災害等により被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ウェブサイトを御確認ください。

○本学ウェブサイト URL

<http://www.nagoya-u.ac.jp>

（大学からのお知らせ→受験生向け）